

8

222

M

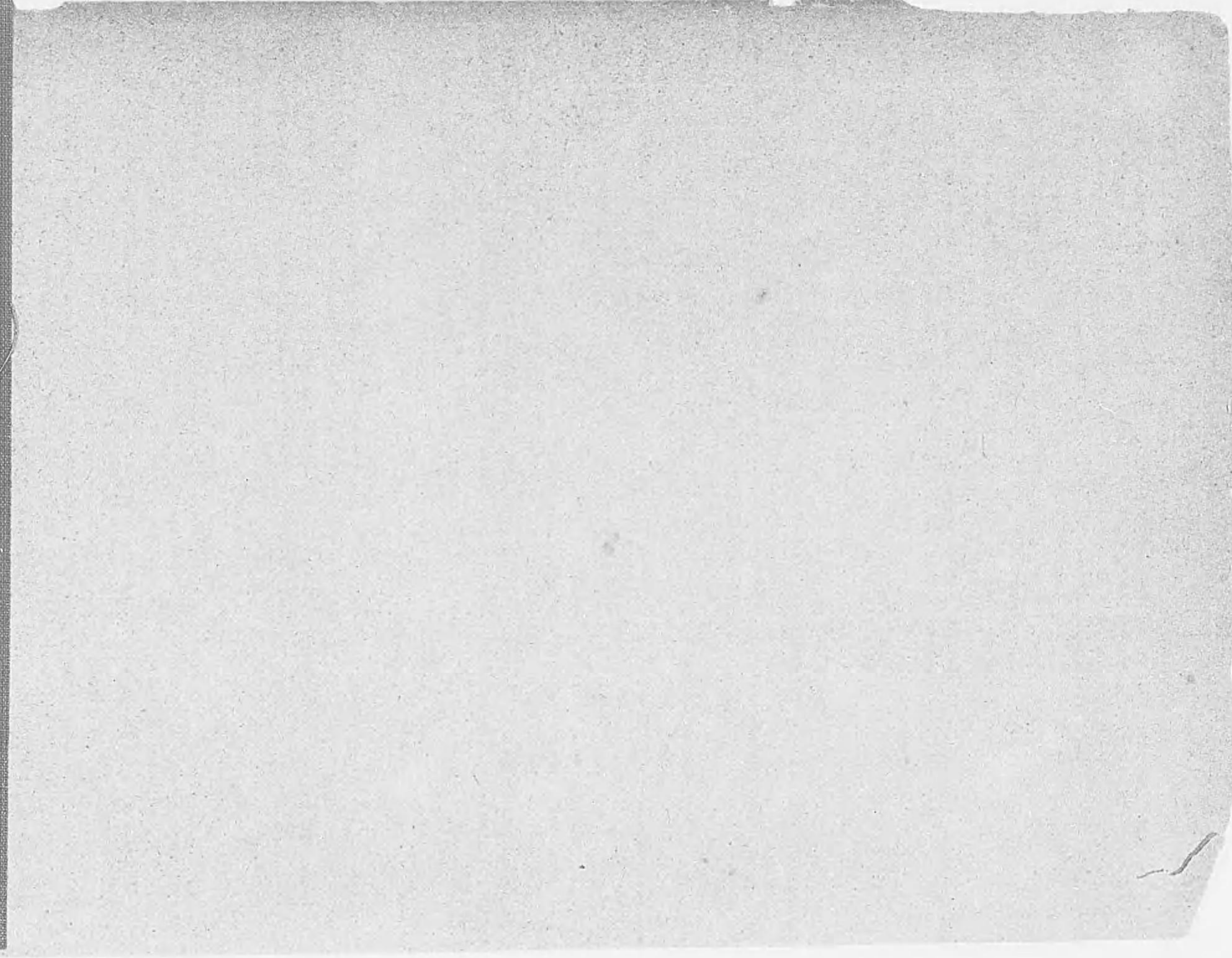
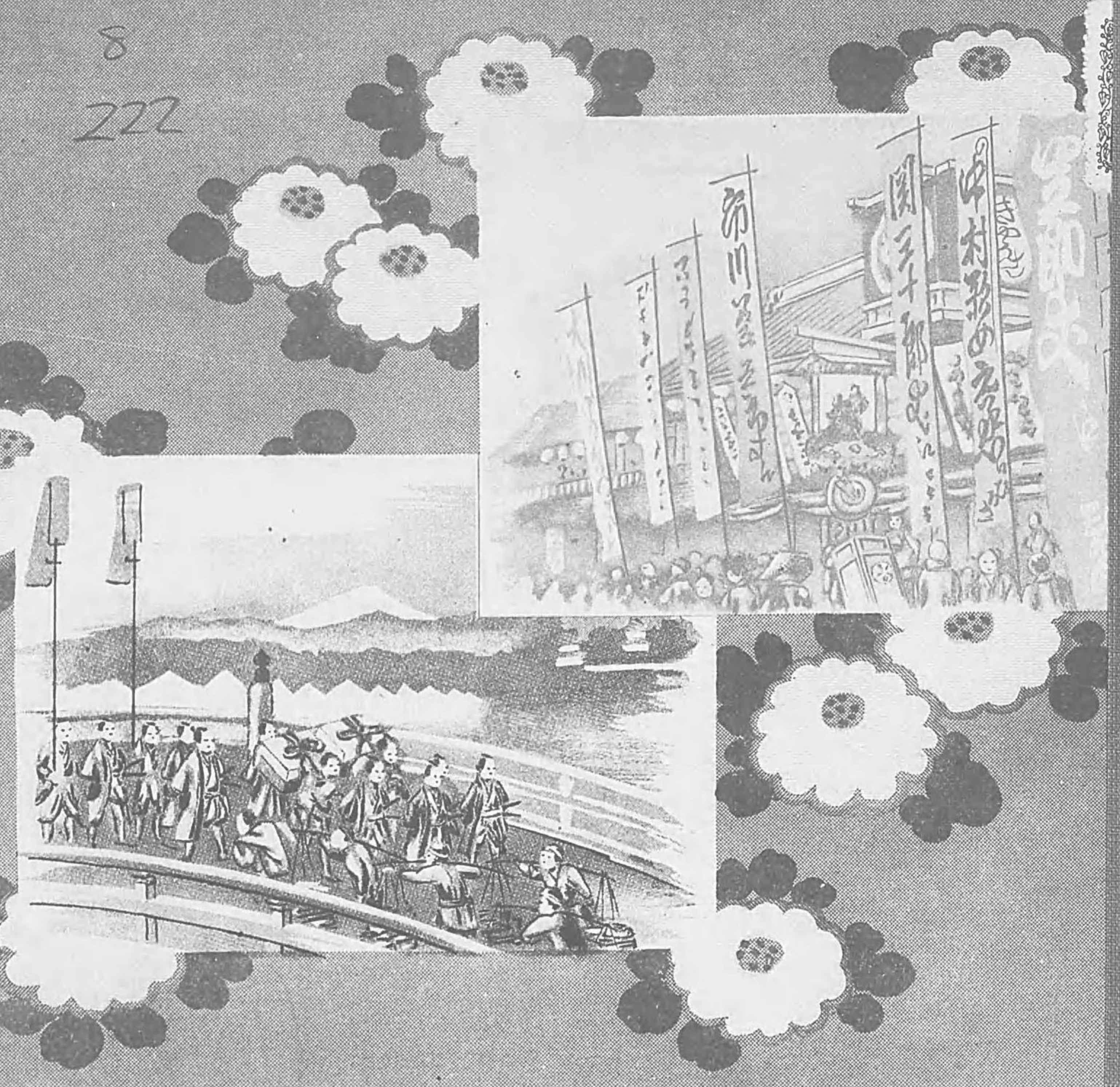


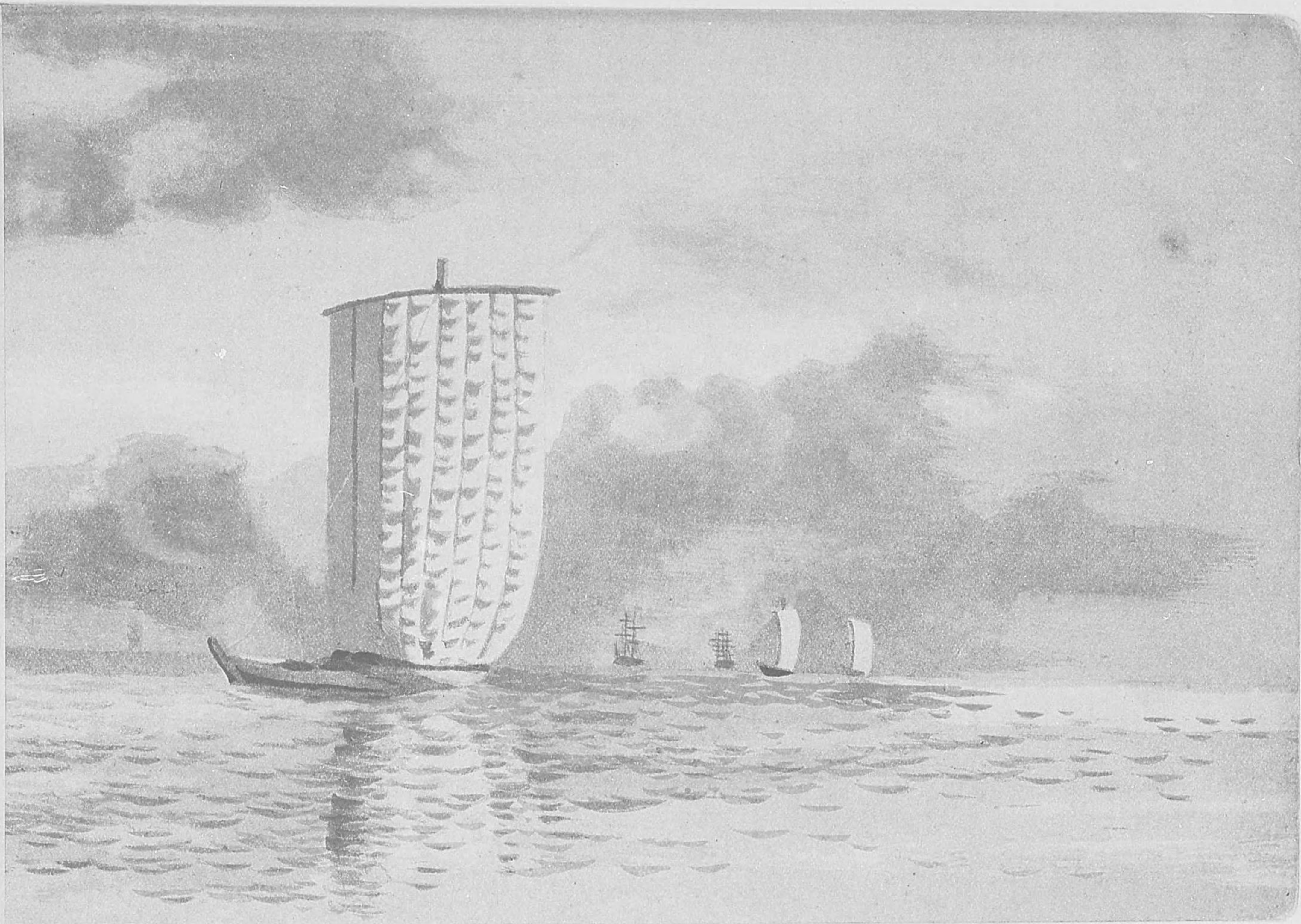
始



8
222

旅
の
あ
つ
き
と
巻





都之巻



東京は日本帝國の首都なり原と荏戸又は江戸と稱し往古所謂武藏野なる廣漠たる草原なりしを長祿二年(今を距る約四百五十年)太田道灌初めて千代田城を寶田の里に築き後大永四年正月北條氏綱之を略取し氏康氏政氏直等を経て天正十八年四月徳川家康此地に封せられ慶長八年幕府を開きてより頗る繁盛を來し終に慶喜の將軍を罷むるに至る迄凡そ二百七十餘年にして八百八街の稱あるに至る明治元年龍車東幸皇居をこゝに奠めらるや江戸を改めて東京と稱す當時市内を六大區七十小區に分ちしが今は廢して十五區となす即麴町神田日本橋京橋芝麻布赤阪四谷牛込小石川本郷下谷淺草本所深川是なり此内京橋日本橋神田下谷淺草は俗に下町と稱し最も繁華を極む他は山の手と稱えて般賑下町に及ばず而して市街今や一千三百七十二に分れ戸數二十七萬餘人口百五十萬餘に上る是より各區に一括して本卷の案内を試みん他に猶見物の箇所數十にして足らざるも今は卷中所載の箇所に止む

麴町区

麴町は市の中央に位し宮城の在る所宮城即元江戸城にして周回約二里明治元年以降西丸を以て皇居と定めらるるに畏れ多くも六年五月炎上十七年漸く工を起させられ二十二年新築落成同一月十一日を以て御移轉あらせられたり二重橋は正門にして舊書院門橋なり右に書院櫓を隔て、正殿豊明殿の甍を望み堤上古松翠碧滴らんとす吾人この帝都を訪ふもの必らず先づこゝに宮闕を拜して

聖恩の高大無量なるを謝し奉らざるべからず
宮城を辭して西すれば櫻田門に出づ門より右に御濠を隔て、白色の高閣立つはこれ陸軍參謀本部なりこゝに通するの道路所謂外櫻田は彼の萬延元年三月三日雪に乗じて水戸の浪士大關和七郎蓮田市五郎等大老井伊掃部頭を刺殺せし所愈西すれば左手に巍然たる公關あり司法省裁判所海軍省等右に外務省ありこゝを霞ヶ關といふ其先に貴族院衆議院あり右手虎之門の側に東京女學館あり元工部大學跡なり此門外は芝區となる更らに反對に皇城を北すれば神田區より九段坂を登りて正面に靖國神社あり俗に招魂社と稱ふ別格官幣社にして維新の際王事に斃れたるもの及び西南の役戦死したる官軍を祀り近くは二十七八年戦役の忠死者をも合祀せらる境内頗る廣く梅櫻を栽え花季遊覽の士女群集す本社右手に遊就館あり武器を陳列して諸人に縦覽を許す社前馬場内に前兵部大輔大村益次郎氏銅像あり本社は五月十一月の二回招魂祭を執行し餘興として競馬角力等あり

鍛冶橋内に東京府廳監獄署其他郵船會社三菱銀行等大建

築こ、に集沖し日比谷原の側らに内外貴賓の宿泊する帝國ホテルあり

京橋区

京橋は日本橋と共に最も商業殷盛の地たり新橋停車場を出て北すれば大通りはこれ銀座街なり往年金座銀座と稱して徳川氏貨幣鑄造の所たりしといふ左右人道中央車道にして鐵道馬車は絶えず駛走し夜は兩側の瓦斯燈炳々戸々商家業務瀕繁眞に帝都たるに恥ぢず木挽町に歌舞伎座あり宏壯優に本邦劇場中の首位を占め所謂梨園長者市川團十郎堀越秀常に其技を振ふ

日本橋区

本區は市内第一繁華の所にして百貨玆に整はすといふことなし日本橋は通り一丁目と室町一丁目との間に架せる木橋にして市の中央に位し全国各地に到る里程は皆此所を起點とす橋上人馬の通行繹絡二六時中絶ゆるなし橋北に魚市場あり南四日市に郵船會社倉庫あり橋の東に架せる江戸橋西にあるを西河岸橋といふ
日本銀行は常盤橋外にあり石造白色の高樓巍乎として建ち眞に偉觀なり

神田区

神田は皇城の東北に當り市内の學校概ねこ、に集り教育の淵藪たり故に學生の數亦他區に冠絶す學校の主なるもの官立にては高等商業學校、高等師範學校、附屬校、高等女學

校其他私立校は枚舉に遑あらず萬世橋俗に眼鏡橋を渡りて神田明神あり大己貴尊及少彦名命を合せ祀る

下谷区

下谷は市の東北隅に當り上野あるを以て著はる上野は三橋町の北にある丘阜にして元忍ヶ岡の名あり家康覇府を開くや藤堂和泉守こ、に邸を起し其地形伊賀上野に似たりとて改めて上野と稱す其後幕府藤堂氏をして邸を他に移さしめ此所に東叡山寛永寺を創む堂塔伽藍華美壯麗徳川氏累世の香華院として恥つる處なかりしも不幸にして戊辰の役終に大半灰燼となれり今残れるは僅かに清水觀音堂大佛鐘樓五重の塔、東照宮、寛永寺、兩大師(天海、良源)の廟、徳川氏靈廟の數個所のみ降りて明治六年公園となり宮内省直轄に屬し現時は博物館動物園圖書館美術學校音樂學校等の諸館あり二十三年開設の内國勸業博覽會跡は今や内國商品陳列場たり花季數百千の櫻花一時に發するや都下の士女群鬧雲の如く花の如し

東照宮は園の西隅不忍池に臨み家康を祀る寛永三年日光廟に擬して造る華表横に黒門あり彈痕點々戊辰の紀念として保存せらる不忍池は周回半里七八月の交武白の蓮花菡を破り池水に映して甚美觀なり中島に辨財天の祠あり

浅草区

本區は市の東北部を占め所謂東京見物に來る觀光者流の最も多く簇集する所たり即ち其遊覽所の第一たる淺草公園は元淺草寺の境内たりしも明治六年公園となし九年及十五年の二回に擴大して七區となし數千萬坪を有す城内

に所謂淺草観音あり天台宗に屬し本尊は長一寸八分の觀音菩薩にして之を十八間四面の堂に安置せり其他十二層の凌雲閣あり四季の花卉と幾多の動物を收めたる花屋敷あり去て六區七區を過ぐれば劇場興行物等軒を連ね要するにこれ仔細に觀來れば日も亦足らざるの遊覽場たり公園の北に當り吉原遊廓あり寛濶粉裝の伊達風俗に廓内を横行する六法男は今は見ると雖も千金散じ盡す一夕の夢と唄はれし紀文奈良茂か豪遊は今も猶見ざるにあらず廓内を分て京町揚屋町角町江戸町仲の町とし貸座敷百六十餘戸引手茶屋九十餘藝妓屋百二十餘戸にして二千七百の娼妓と五百の藝妓は此中にあり大厦高樓軒を接し家々の光彩白晝を欺き現じ出す不夜の城古名妓は傾城國に罪なし通ひ給ふ客人の咎なり寒からぬ程に見て置け峯の雪とされと悟り顔にさてつひ迷ひ入るは此道か公園の東墨田川に沿ふて待乳山金龍山あり左右に富士筑波の峯を望み春到れば清流を隔て、對岸の白雲を觀る誠に風景に富める雅境なり

吾妻橋は公園側花川戸より對岸本所區に架せる鐵橋にして長八十間一尺幅七間四尺此流域に架せる五大橋中の一なり工費十三萬餘圓を費せり

本所區

市の東隅にあり東都第一の櫻花は枕橋を渡りてより墨田堤二里の八重一重花も朧の薄化粧變遷く春の白雲に僅か七日を命として風に狂亂の名残を止むるはこれ散りてこそ花も櫻と惜しまるれてふ所謂武士の日本魂を現はせるもの發しては萬葉の花となり潜みては神州の精氣たりげ

に名花とやいはんされば晩春の候花を賞するの士女麿至すこれ實に向島の壯觀

堤下に其角か夕立やの句に因ある三圍社あり又牛の御前長命寺梅若塚ありお茶きこしめ梅干も候ふぞの菊塙の園今の百花園等花時ならずとも雅人の杖は止め得べし

南綾瀬の堀切村には武藏屋に菖蒲の紫白相銜ふを賞すべし

龜井戸天神は菅原道實を祀り社前の池には反橋を架し其畔藤棚には其花房二尺に餘るものあり社の東三町許にして所謂臥龍梅あり庵を清香庵といひ俗に梅屋敷といふ園中古梅數百株あり結構幽雅芳銘を啜りて清香を賞すべし兩國百本杭は古來鯉釣りの名所として知らる

源川區

市の東南隅を占む此區に於て見るべきは先づ富岡八幡社なり深川公園内にあり祭神は應神天皇なり隣地に成田不動の出張所あり庭園假山に銅製の不動明王外三十六童子あり

本區にも遊廓ありもと根津にありしもの明治十九年官命じて洲崎埋立地に轉せしむ妓樓百餘戸然かも到底吉原の壯なるに及ばず

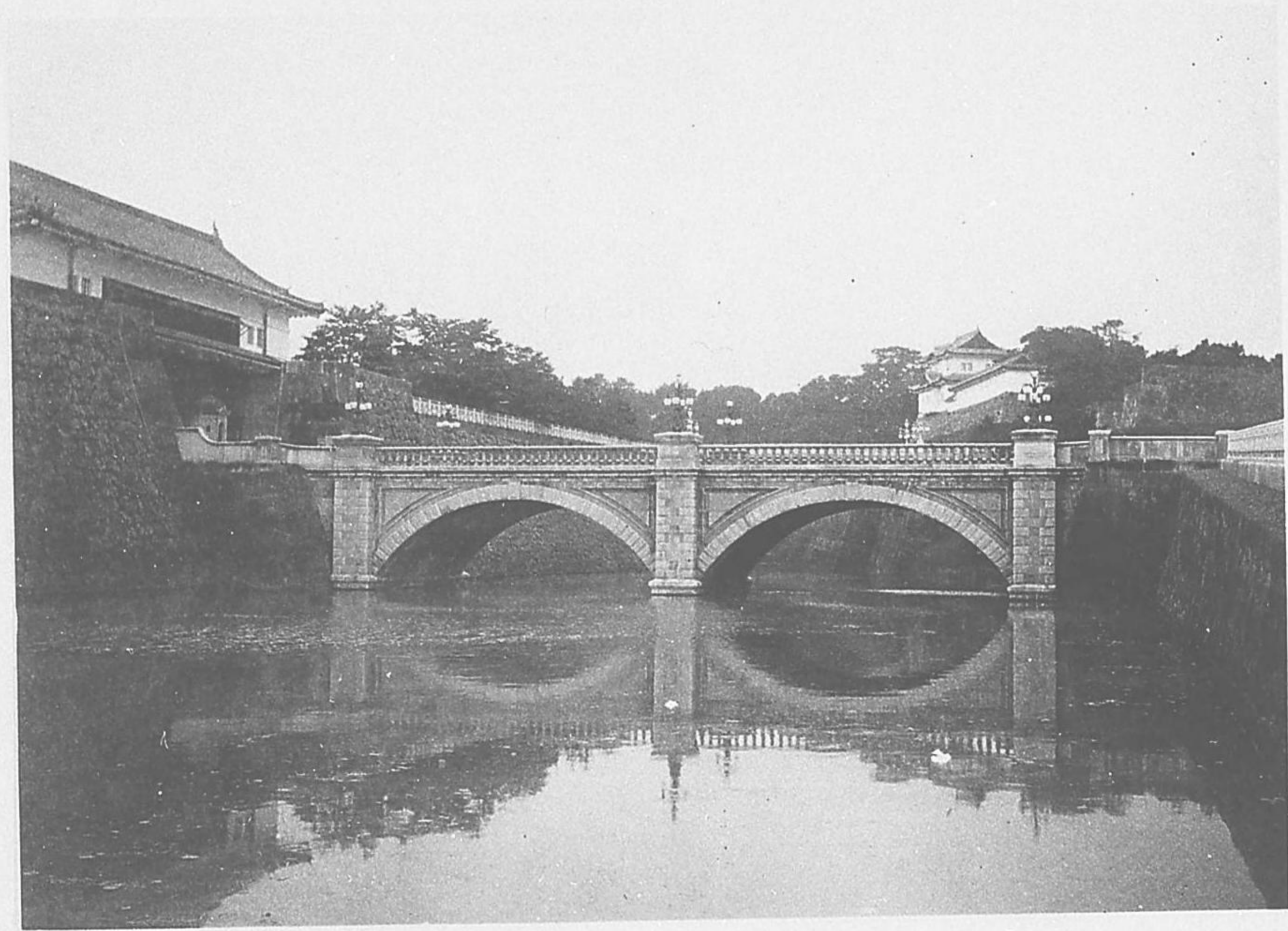
市の南隅にあり新橋停車場は客の西より來るものを迎ふ關門たり區内に愛宕山あり愛宕神社を置く社側に愛宕塔あり五層にして能く全市を望むべし

増上寺は芝公園内にあり三緑山廣度院と稱し關東淨土宗

の總本山にして構造偉大なり徳川家康の歸依以來代々の遺骸を上野寛永寺と當寺とに交互埋葬して靈屋を設くるに至れり故に靈廟の存するもの二代台徳院六代文春院七代有章院九代惇信院十二代愼徳院十四代照徳院の六廟あり孰れも日光廟を模したり泉岳寺は高輪にあり曹洞宗にして萬松山と號す彼の赤穂城主淺野長矩及其臣大石良雄以下四十六士の墓ありて有名なり近頃四十七士木像及其遺物を陳列して衆庶の觀覽に供す維新の初め車駕東幸の際特に勅使を派して金幣を賜はる

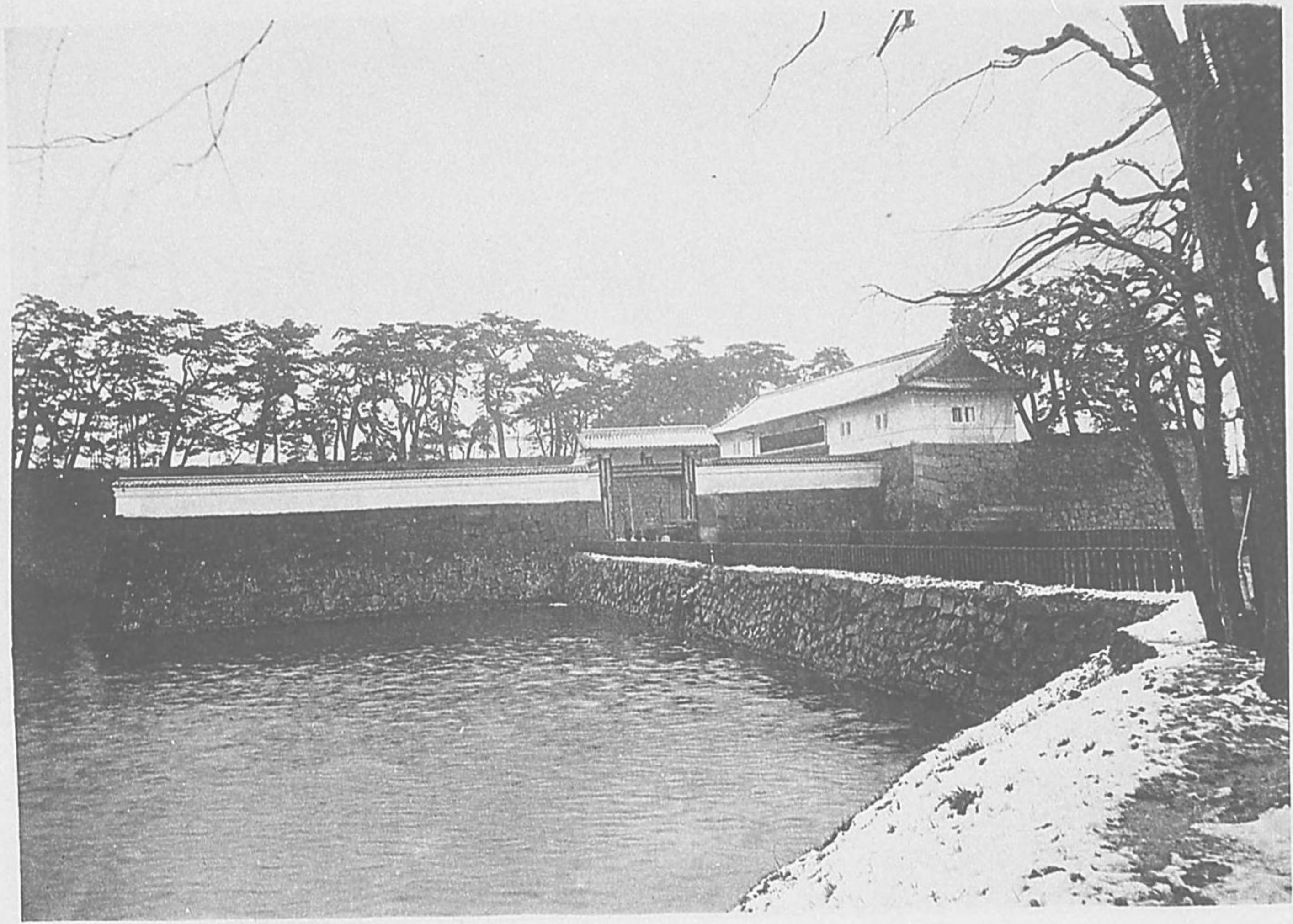
以上の外山王の櫻花は麴町區内に屬する日枝神社にあり、四谷見附は麴町より四谷區に出づる御門跡にして此四谷濠端に學習院あり華族子弟を教ゆ、帝國大學校は本郷にあり、音羽護國寺は小石川區にあり新義眞言宗の大學林を開き寺背字權現山に北白川宮殿下御陵あり又三條岩倉兩公墳墓も相併べり

皇居二重橋



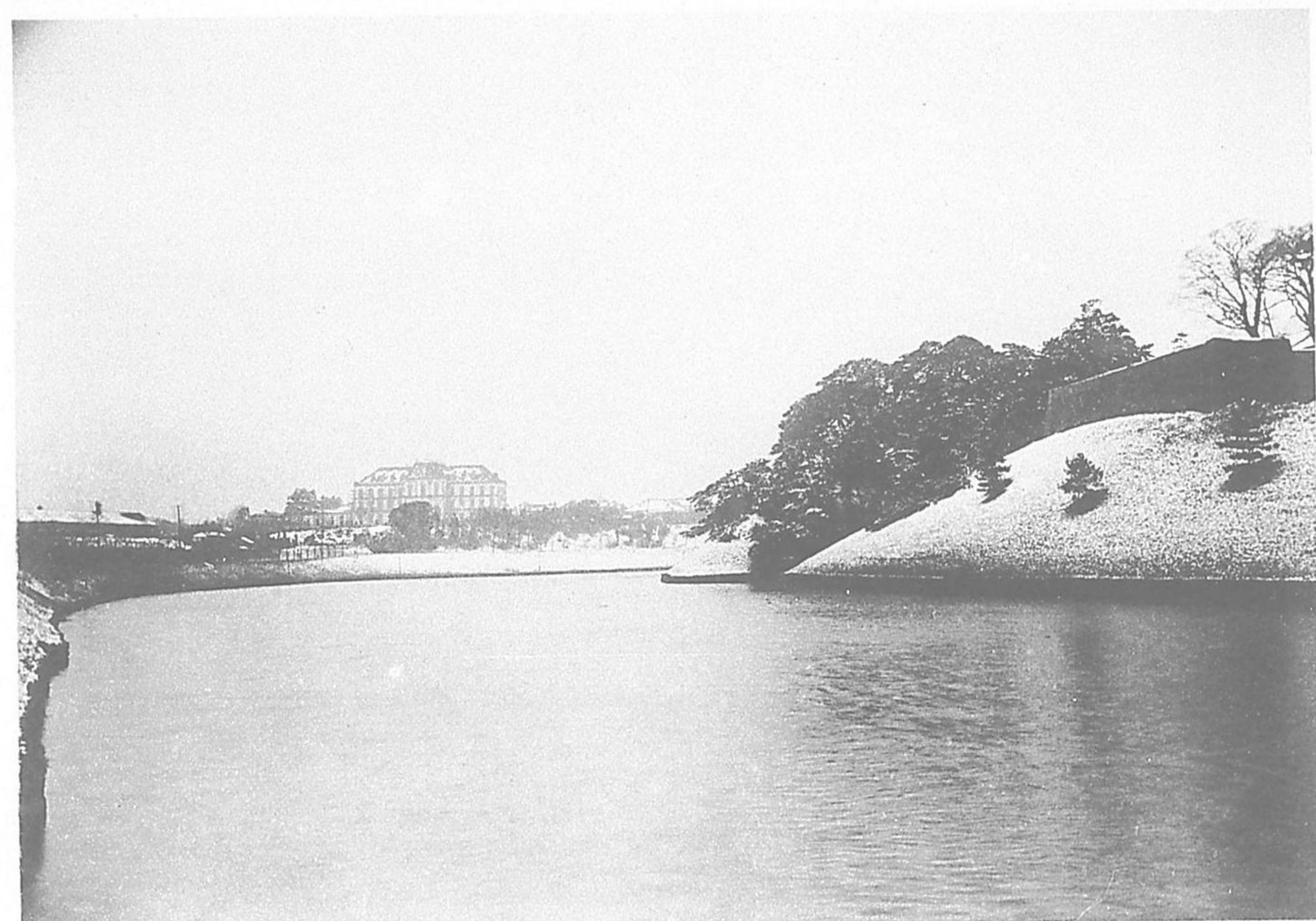
皇宮二重橋

櫻
田
門



懸田門

參
謀
本
部



參
集
本
譜

外
務
省
前



長
春
省
前

東京女學館



東京
女
學
館

新橋停車場



海峽車庫

東
京
府
廳



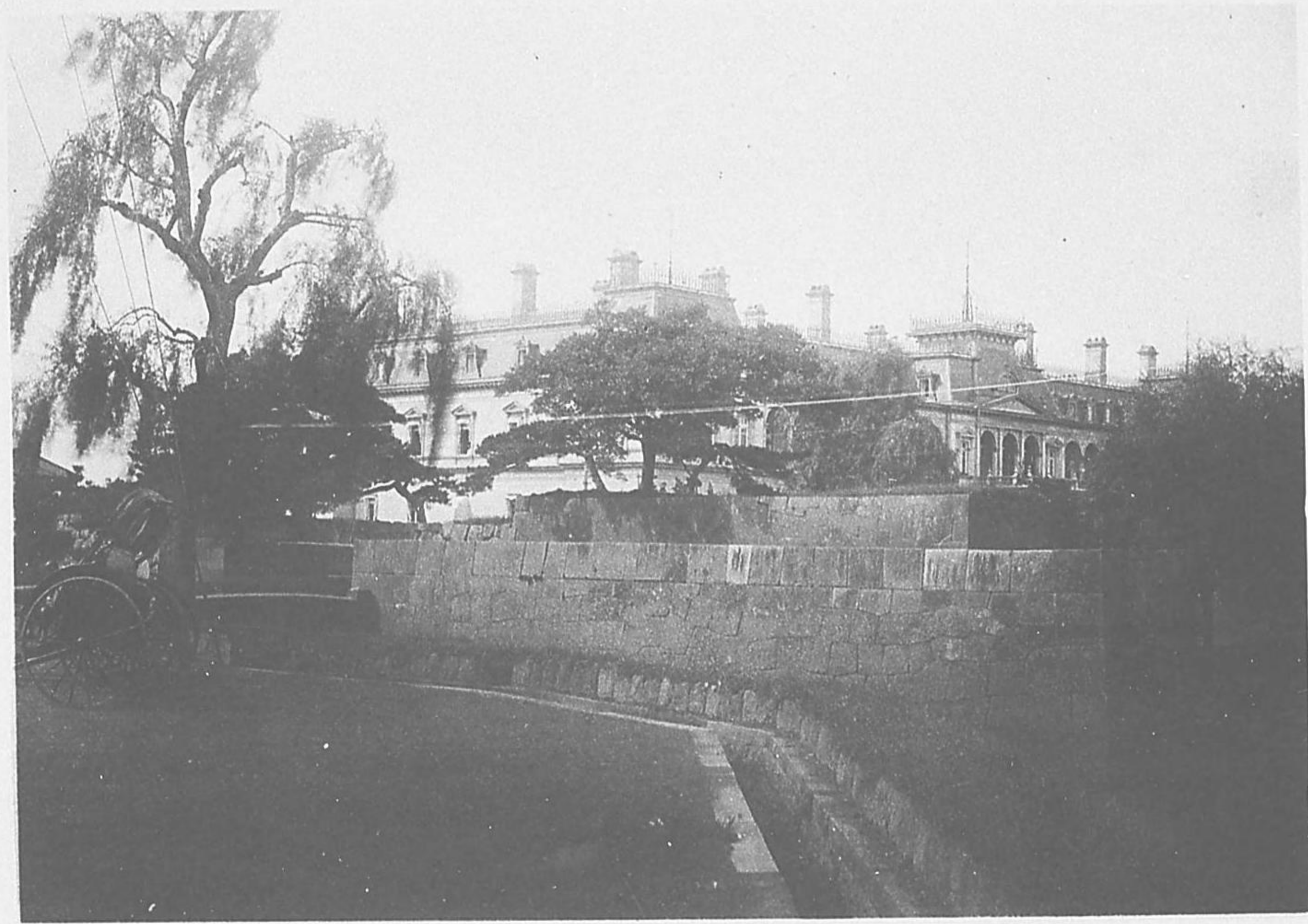
東京
丸
龜

銀
座
通



驗
準
面

帝國
ホテル



帝國ホテル

帝
國
議
會



帝國議會

愛
宕
山



愛宕山

芝
增
上
寺



法華寺

芝
靈
廟



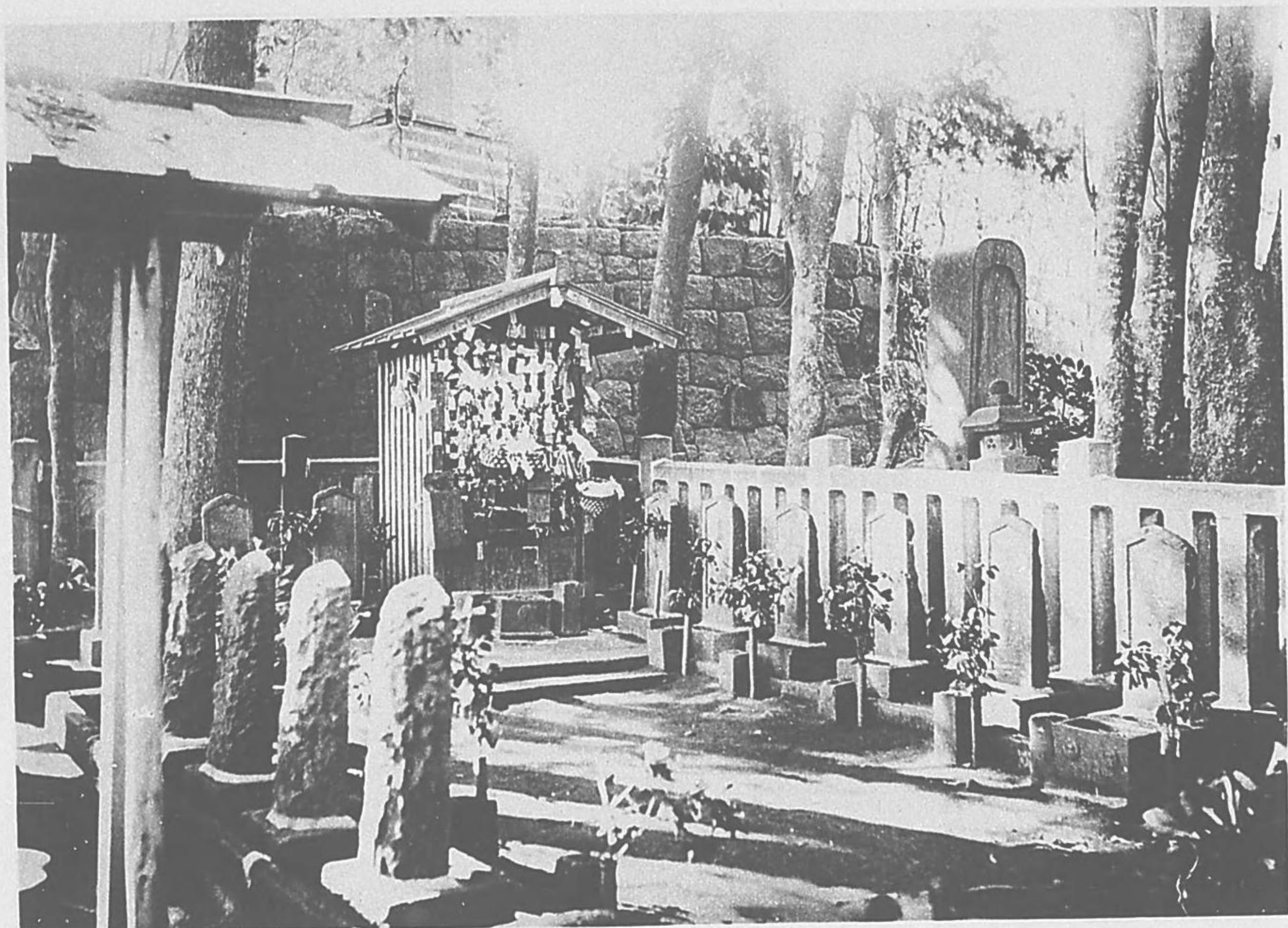
安
靈
閣

二代將軍御成門



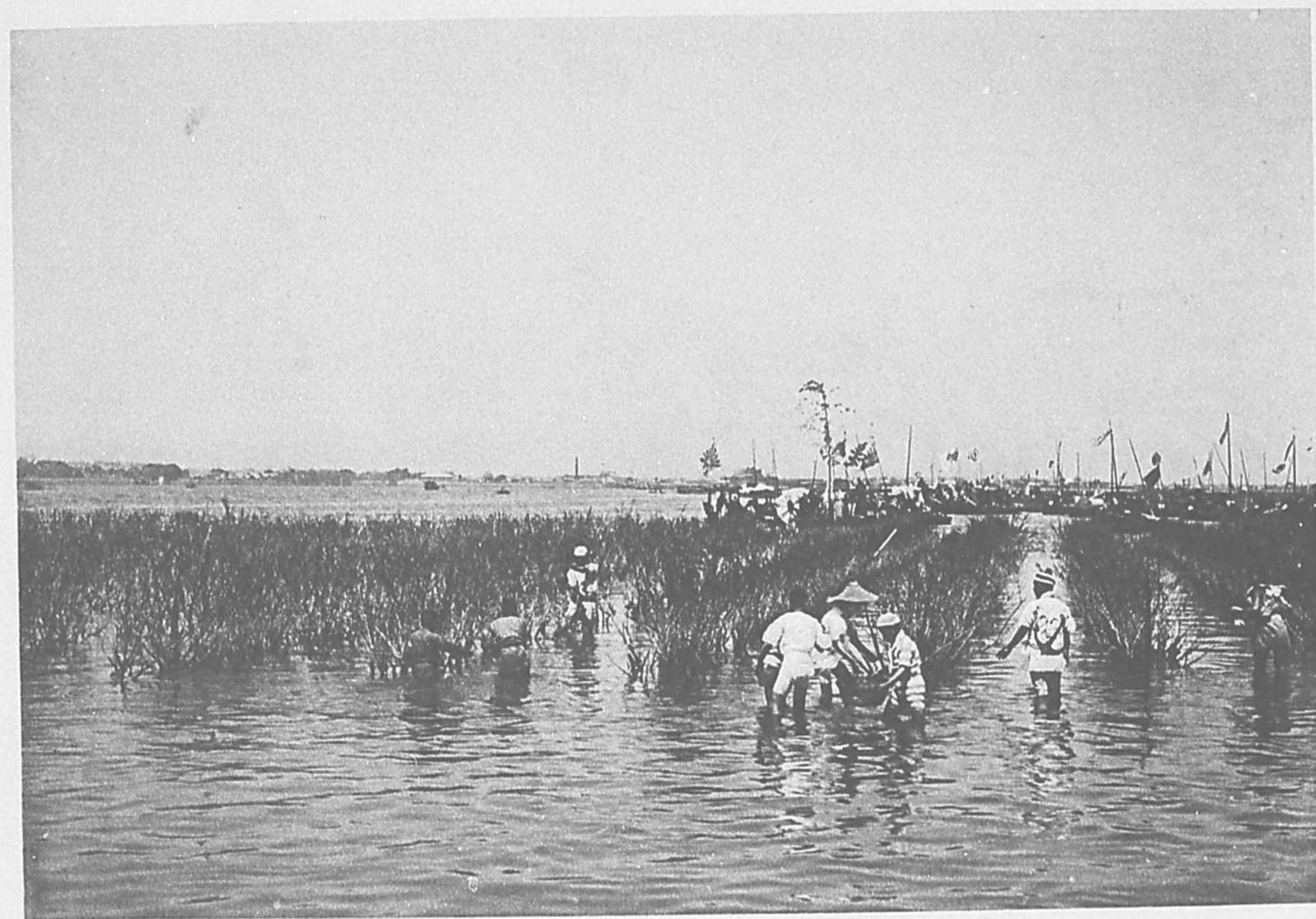
二 升 旅 軍 聯 旗 門

泉
岳
寺



泉
岳
寺

汐
干
狩



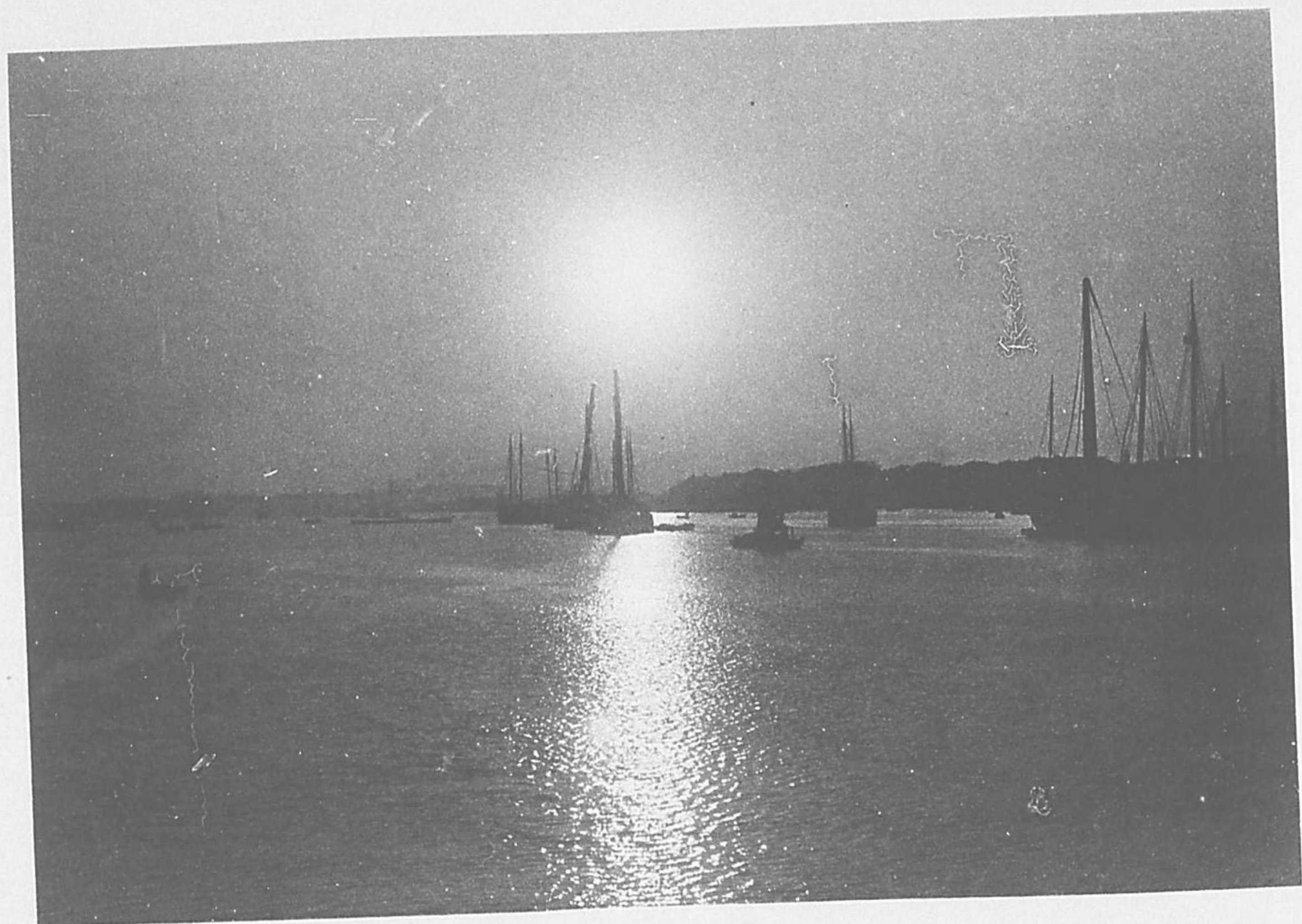
卷
干
卷

歌
舞
伎
座



湘
興
封
函

佃
島
夕
照



冊
島
夕
潮

深川八幡宮



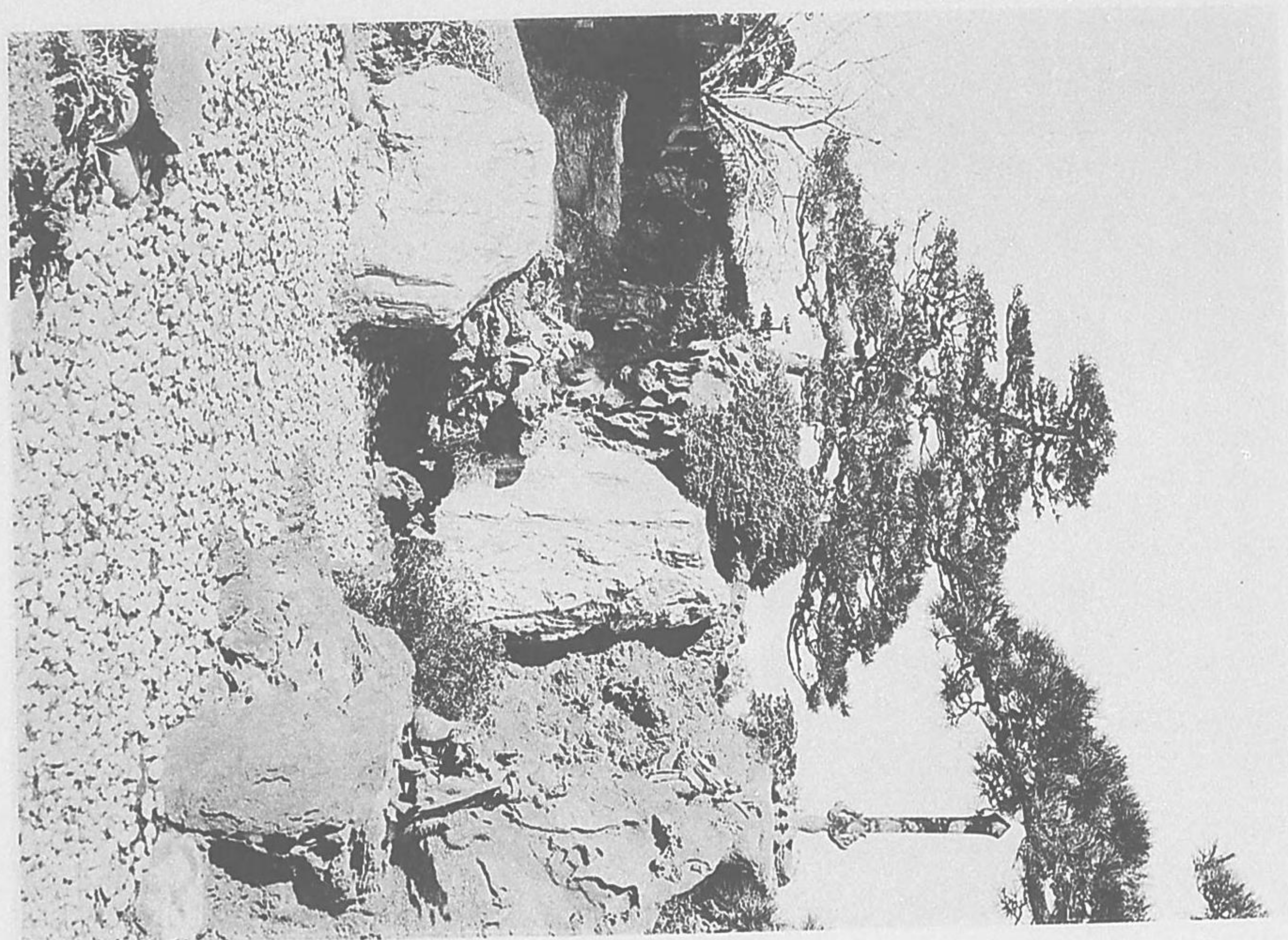
茨川八幡宮

深川成田不動



稻川廻田不慮

深川不動三十六童子



新川不運三十六童子

洲
崎
夕
照



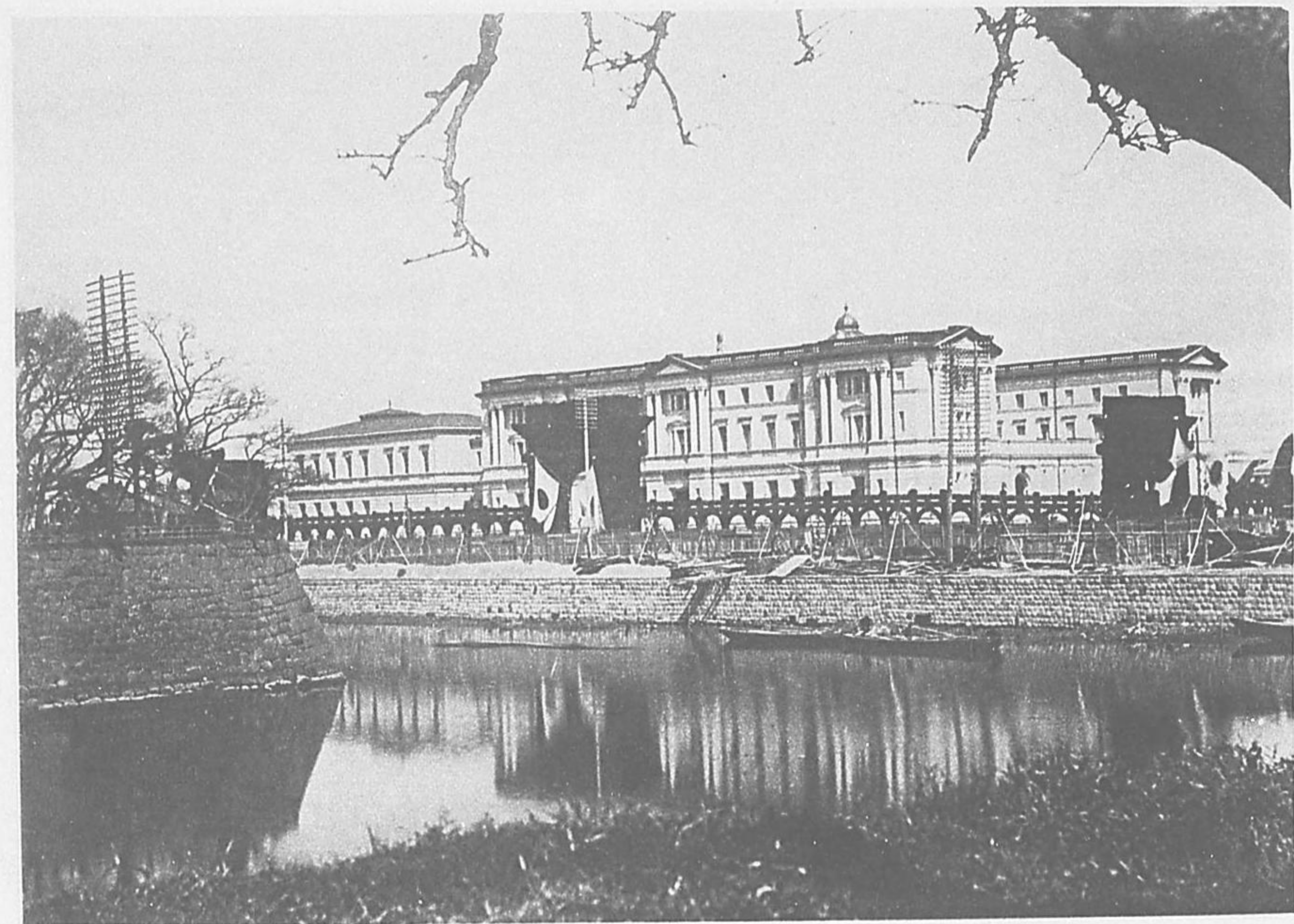
飛
船
之
組

日
本
橋
通



日本
郵
政

日
本
銀
行



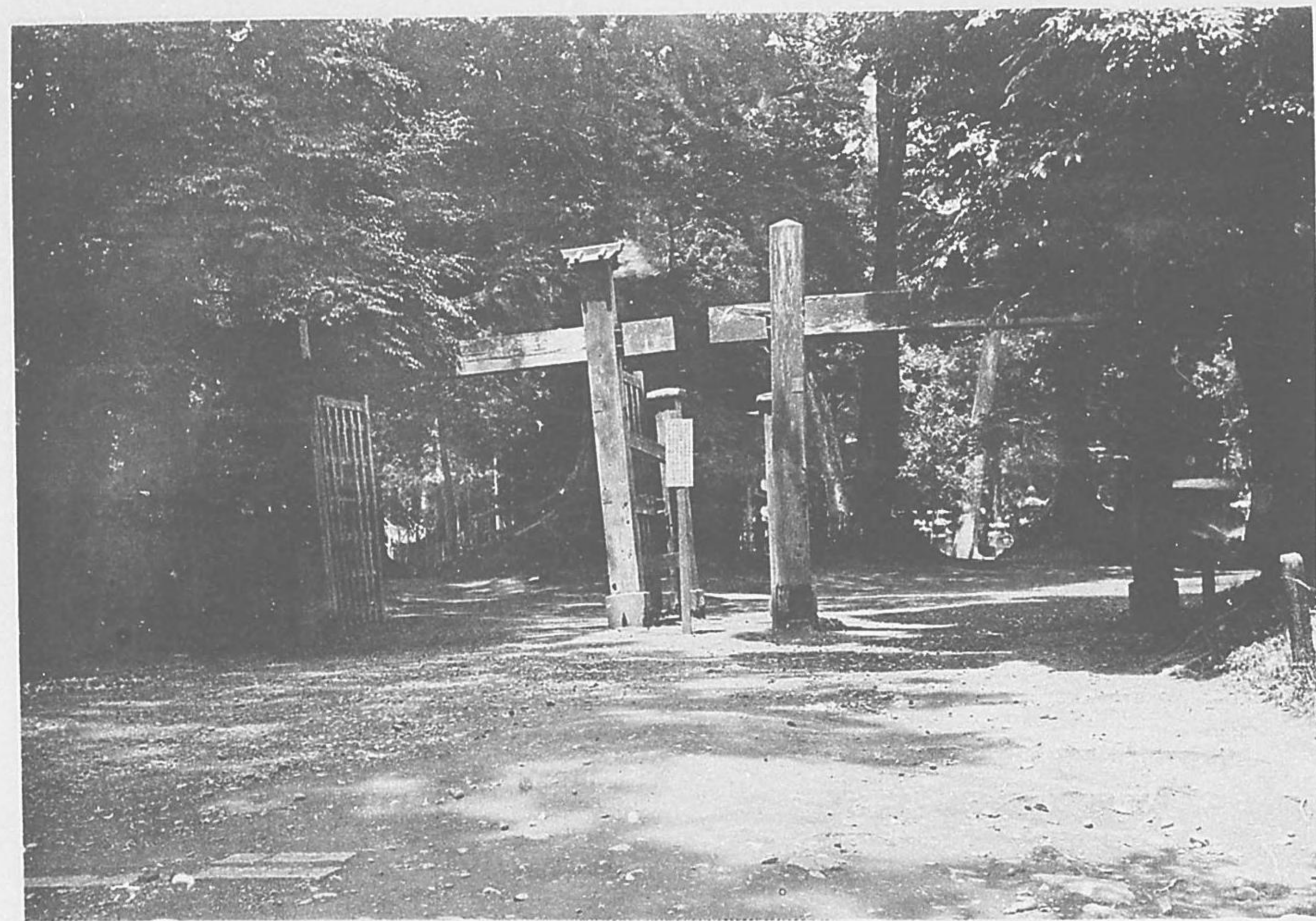
目
本
驗
計

上野公園櫻花



土裡公園對景

上
野
黒
門



土
裡
黒
門

上野東照宮



土禮東淵宮

上野不忍池



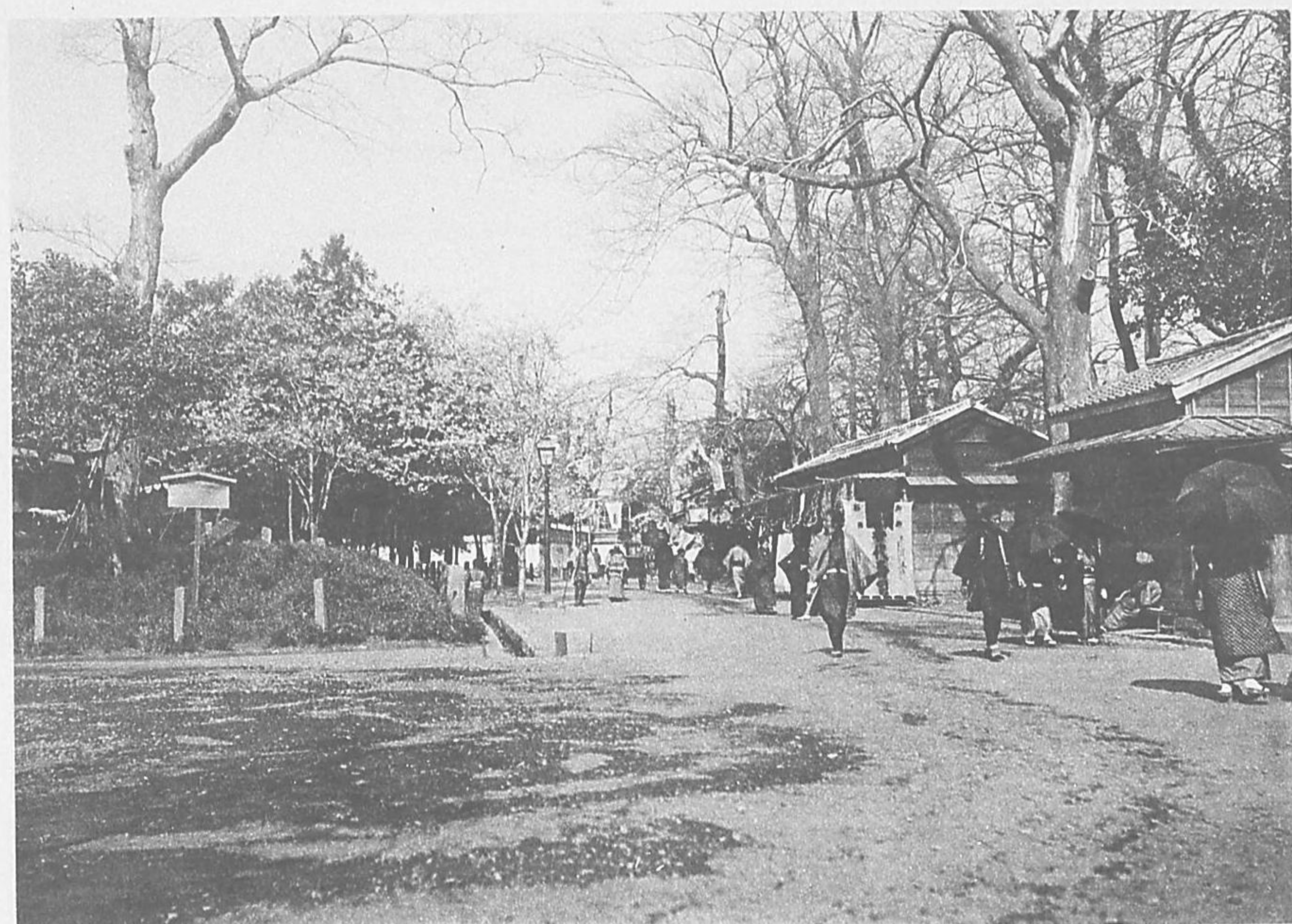
土裡不惡斷

淺
草
觀
音



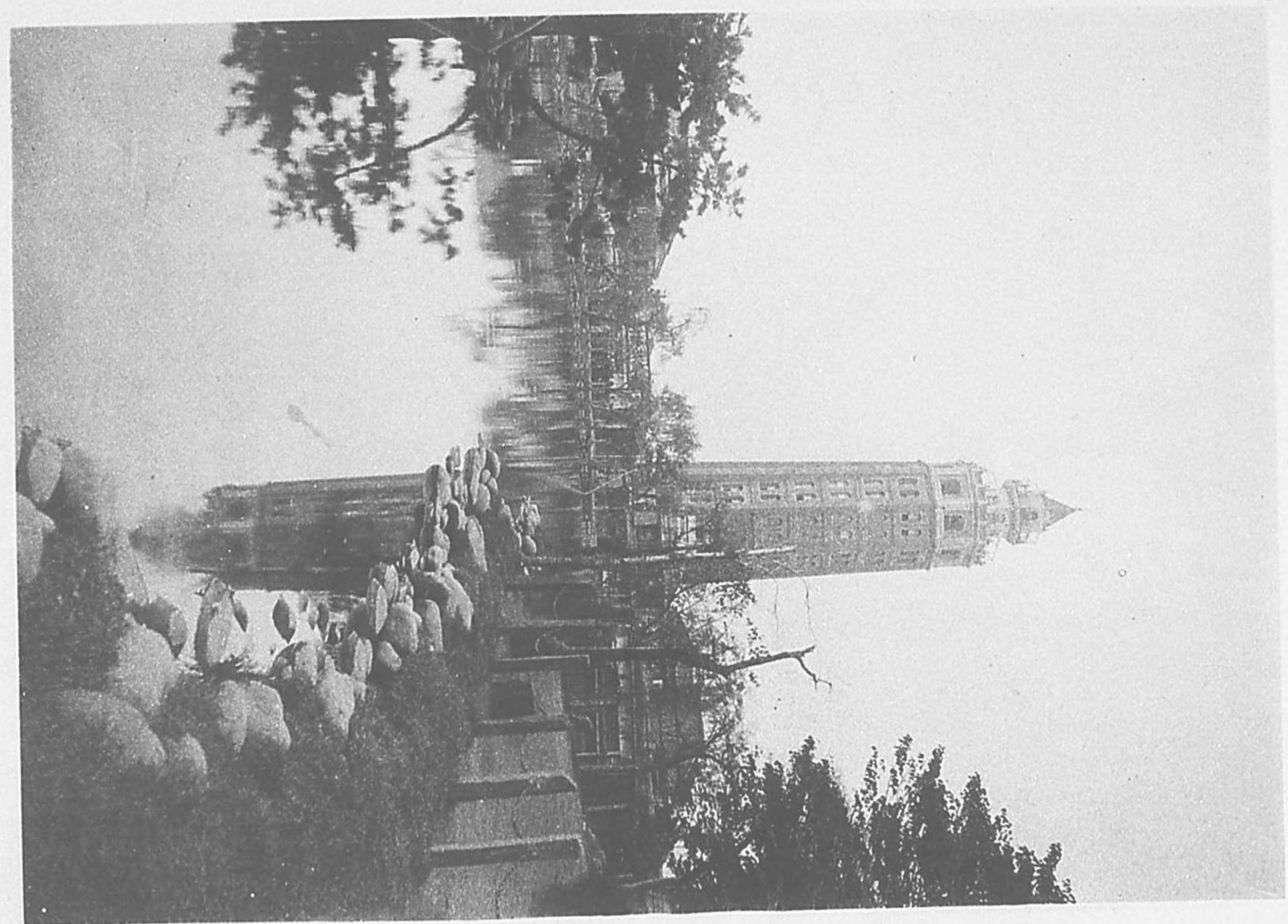
蕤
草
賦
音

淺
草
公
園



蕤
草
公
園

淺草凌雲閣



對草堂雲閣

吾
妻
橋



吾
妻
辭

枕

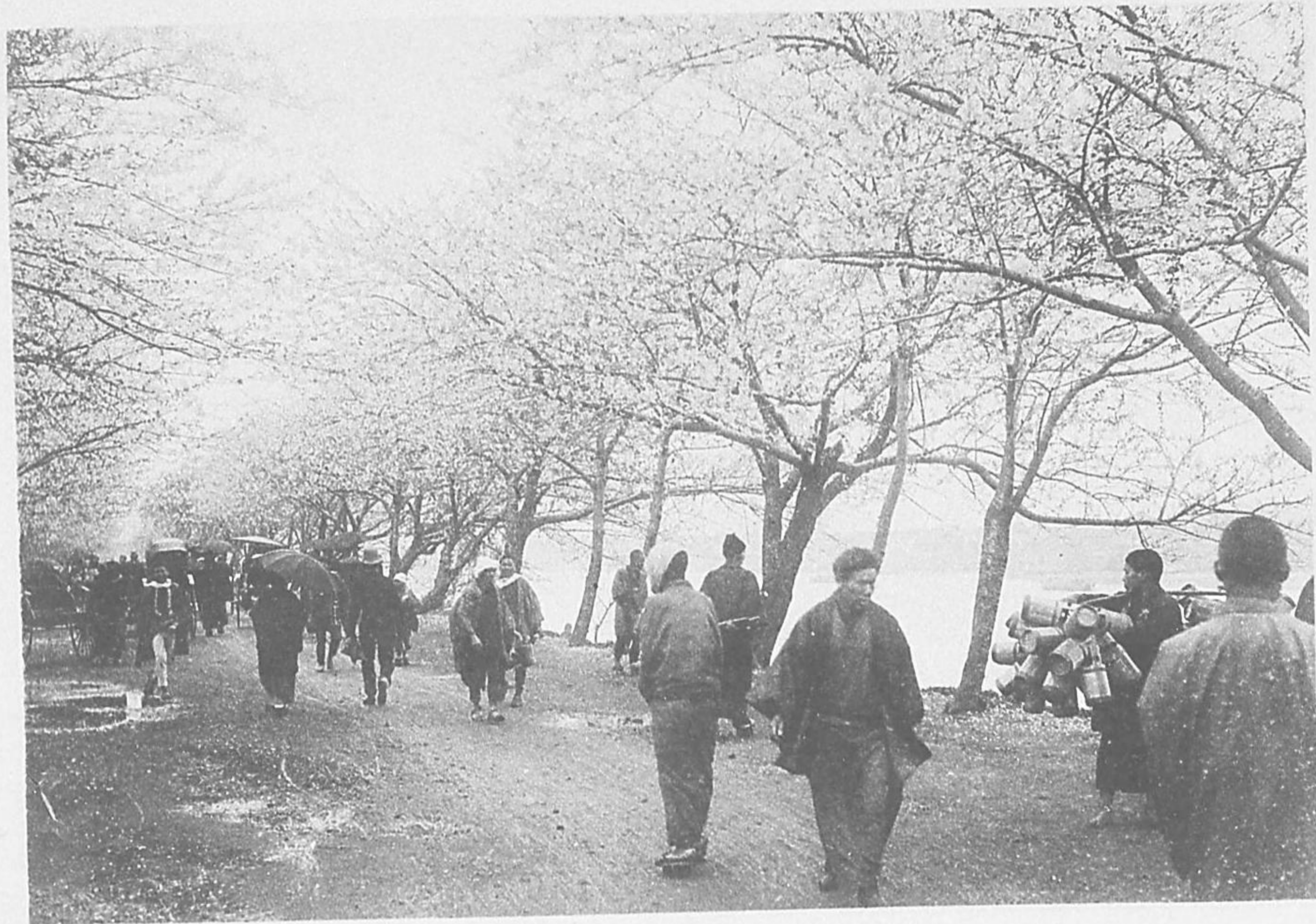
橋



村

船

向
島
櫻
花



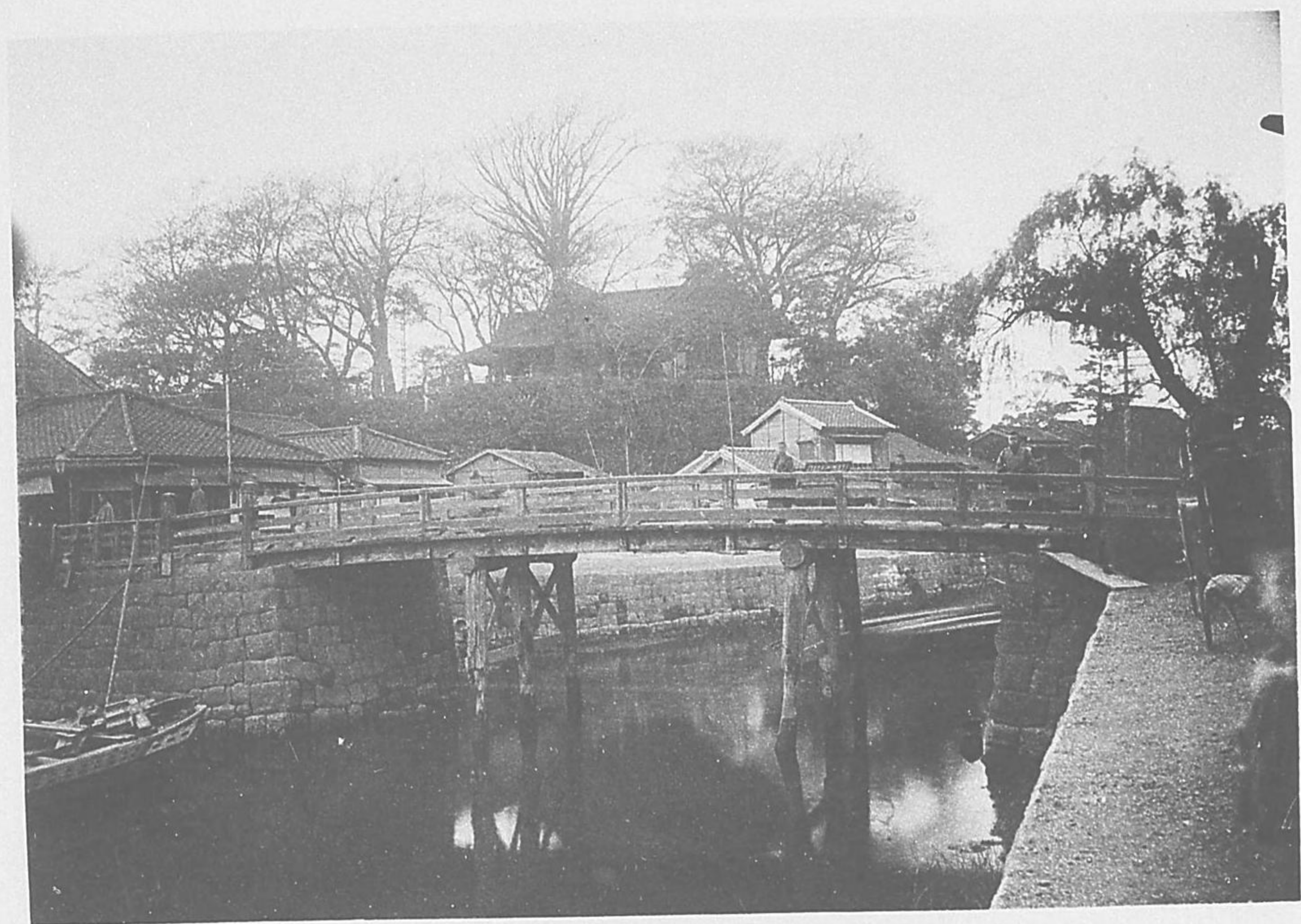
向
島
野
津

堀
切
菖
蒲



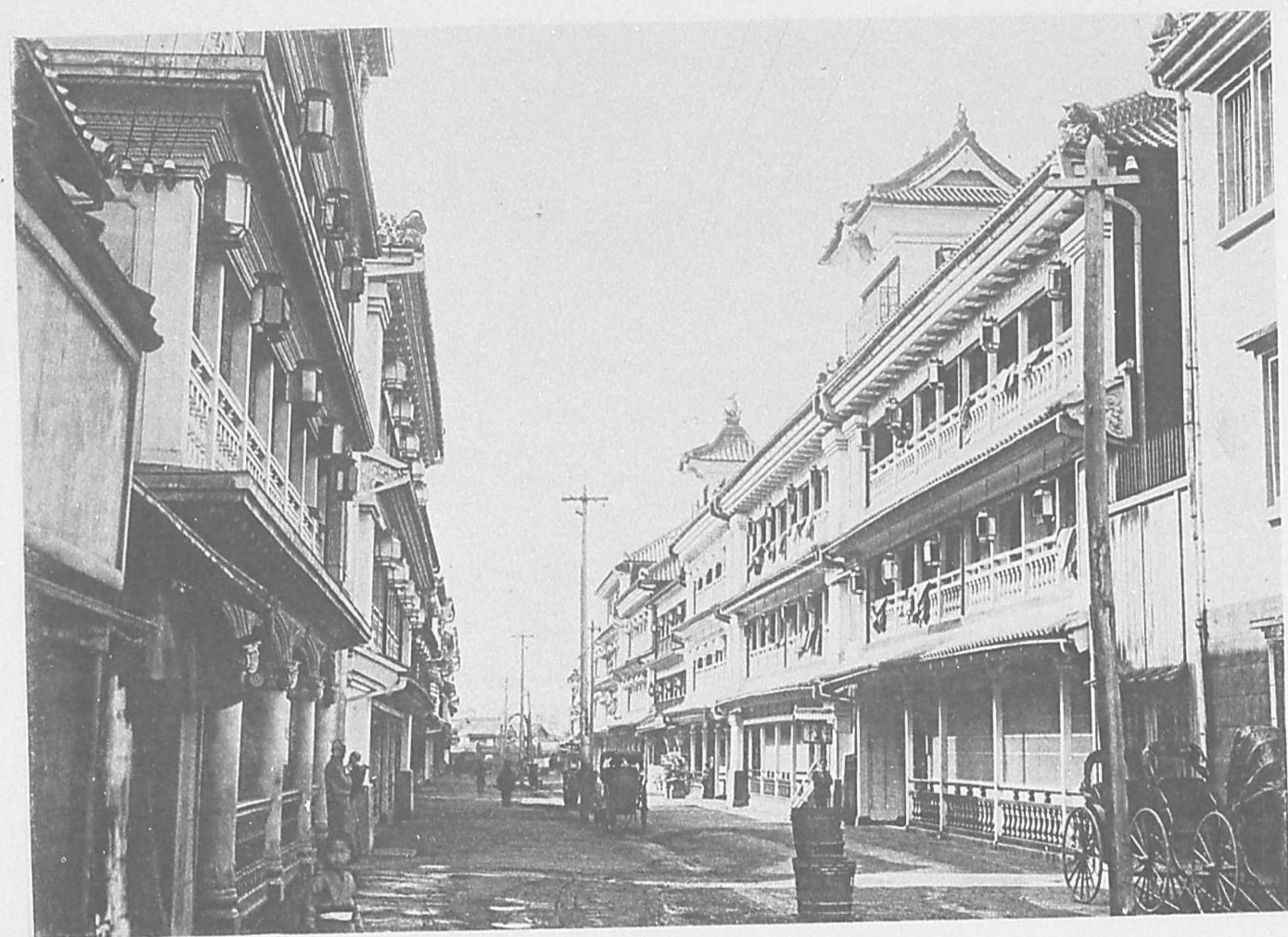
銀
心
菖
薺

待
乳
山



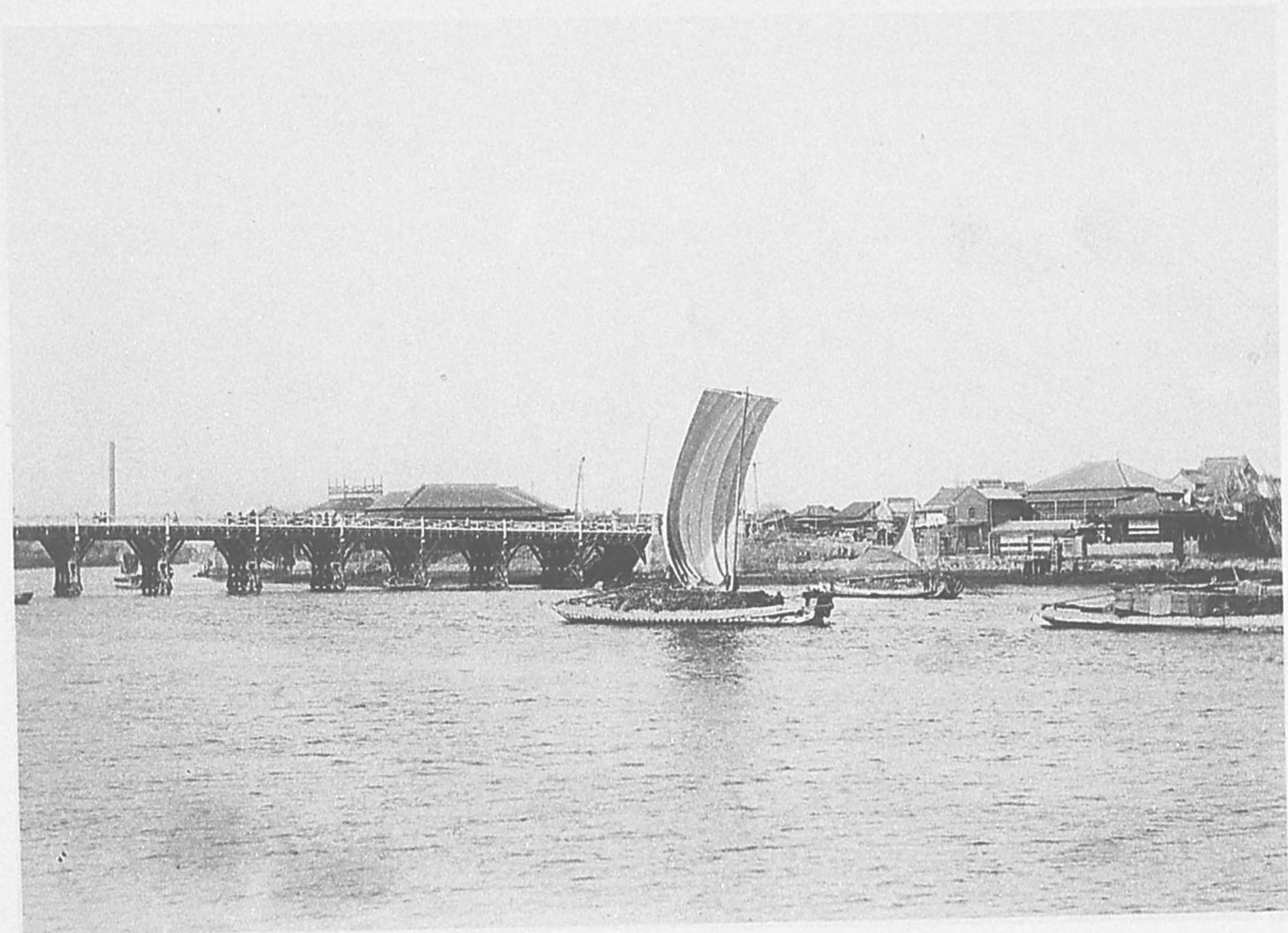
掛
屏
山

吉
原
花
街



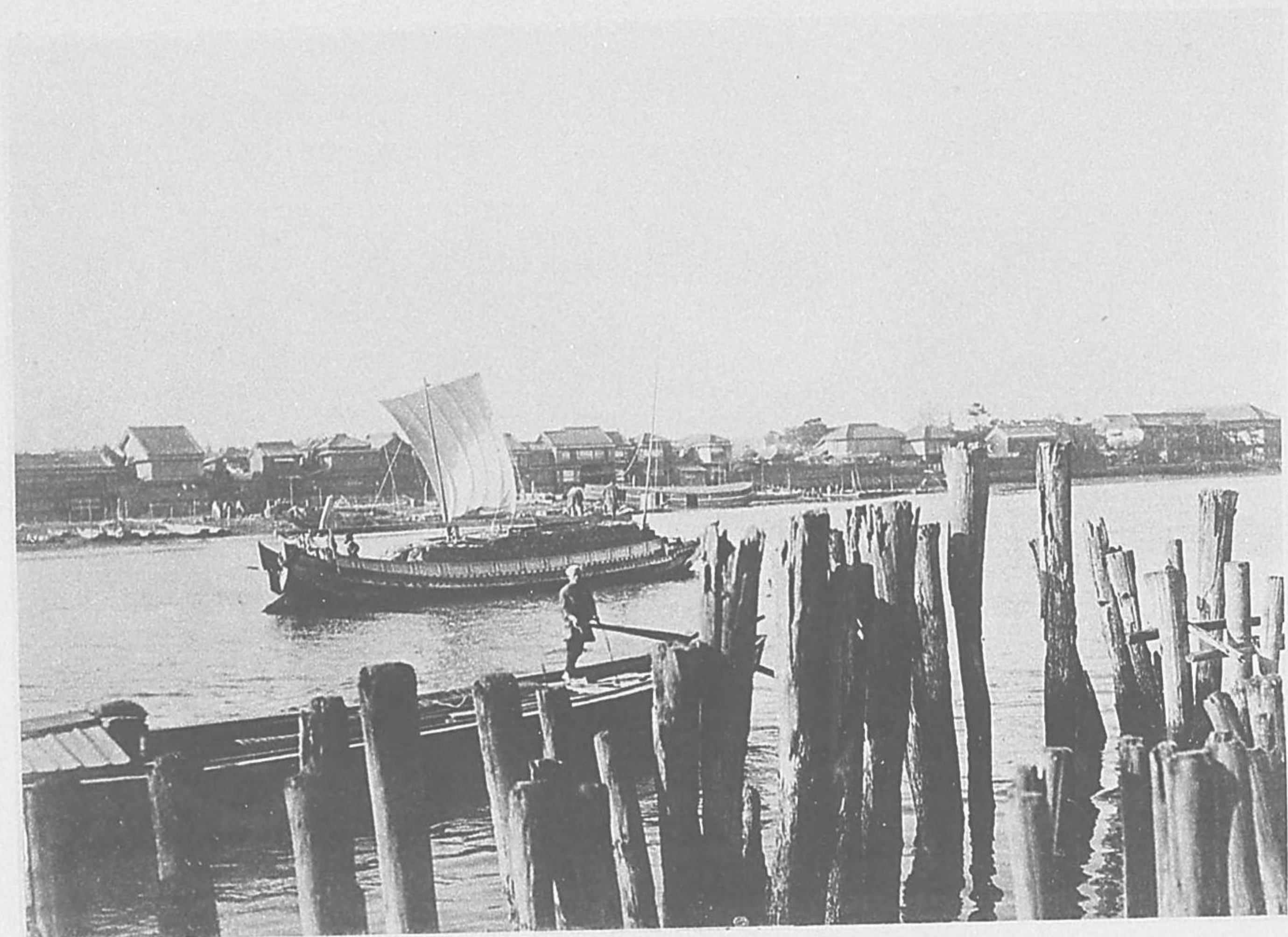
吉
林
街

兩
國
橋



兩
園
齋

兩
國
百
本
杭



兩
圖
百
本
册

龜井戸天神



藤井天師

龜井戸天神反橋と藤花



鎌倉の天願寺の橋

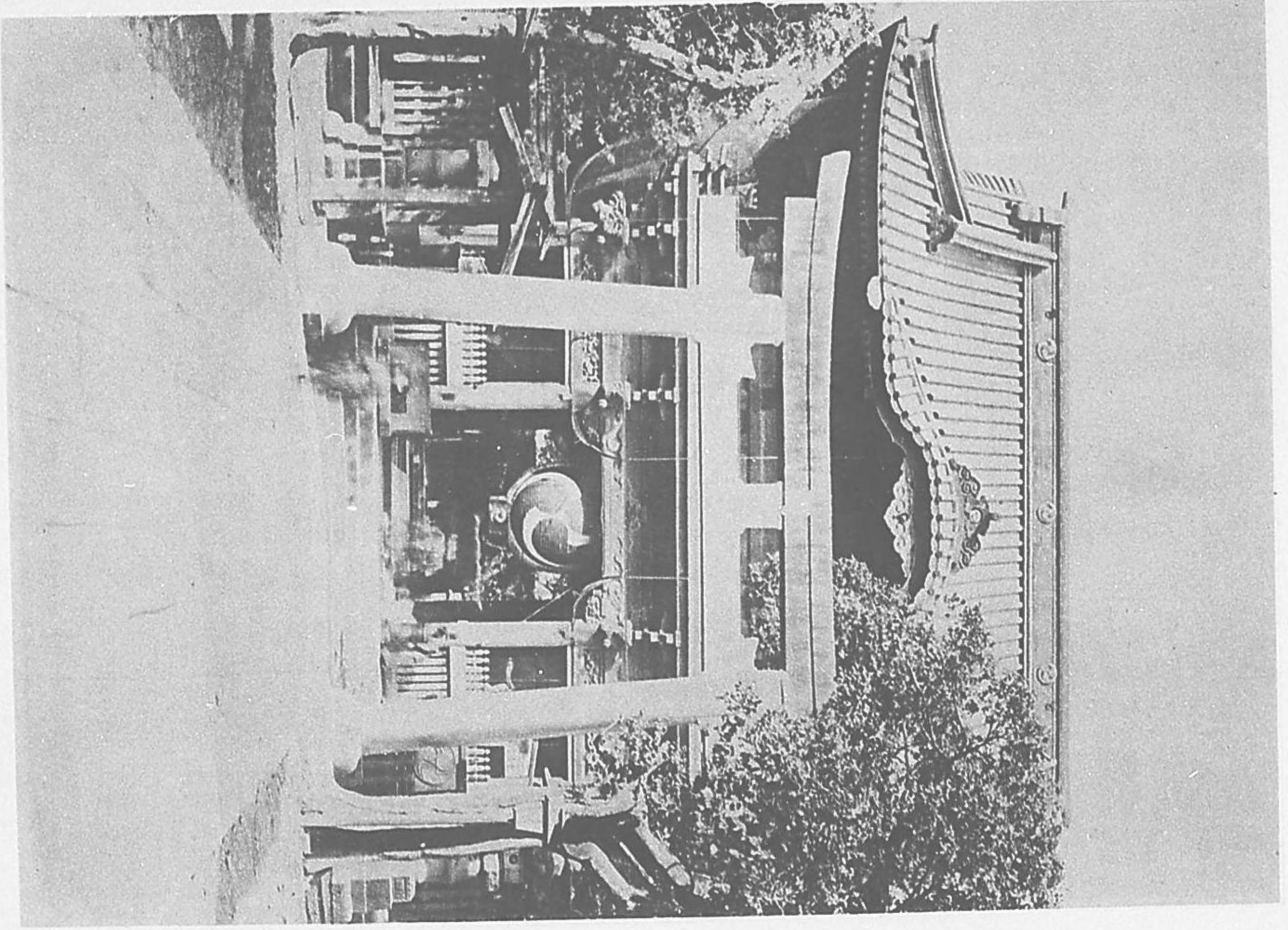
臥
龍
梅



廻
詰
所

神
田
明
神

轉
田
興
轉



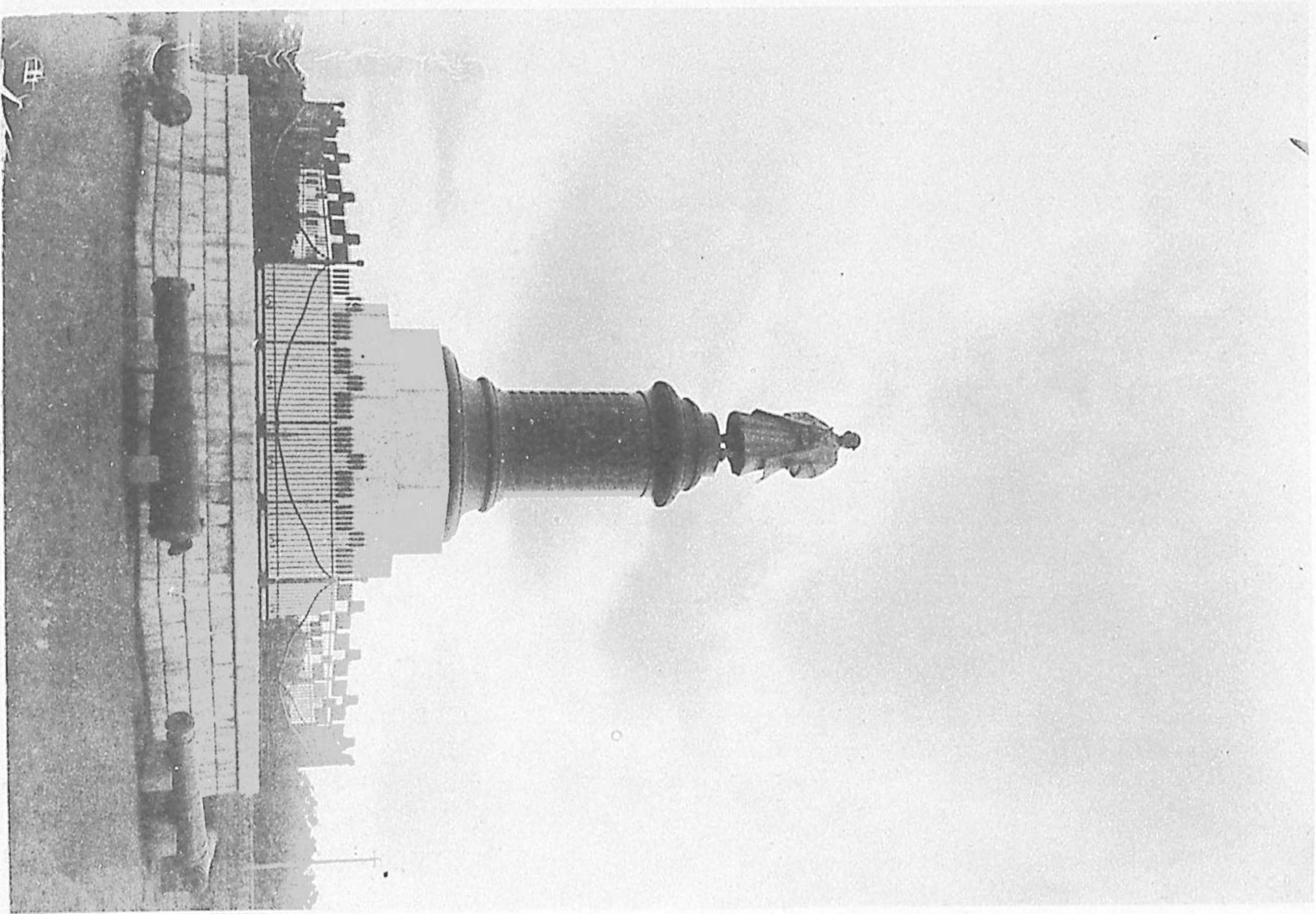
靖
國
神
社



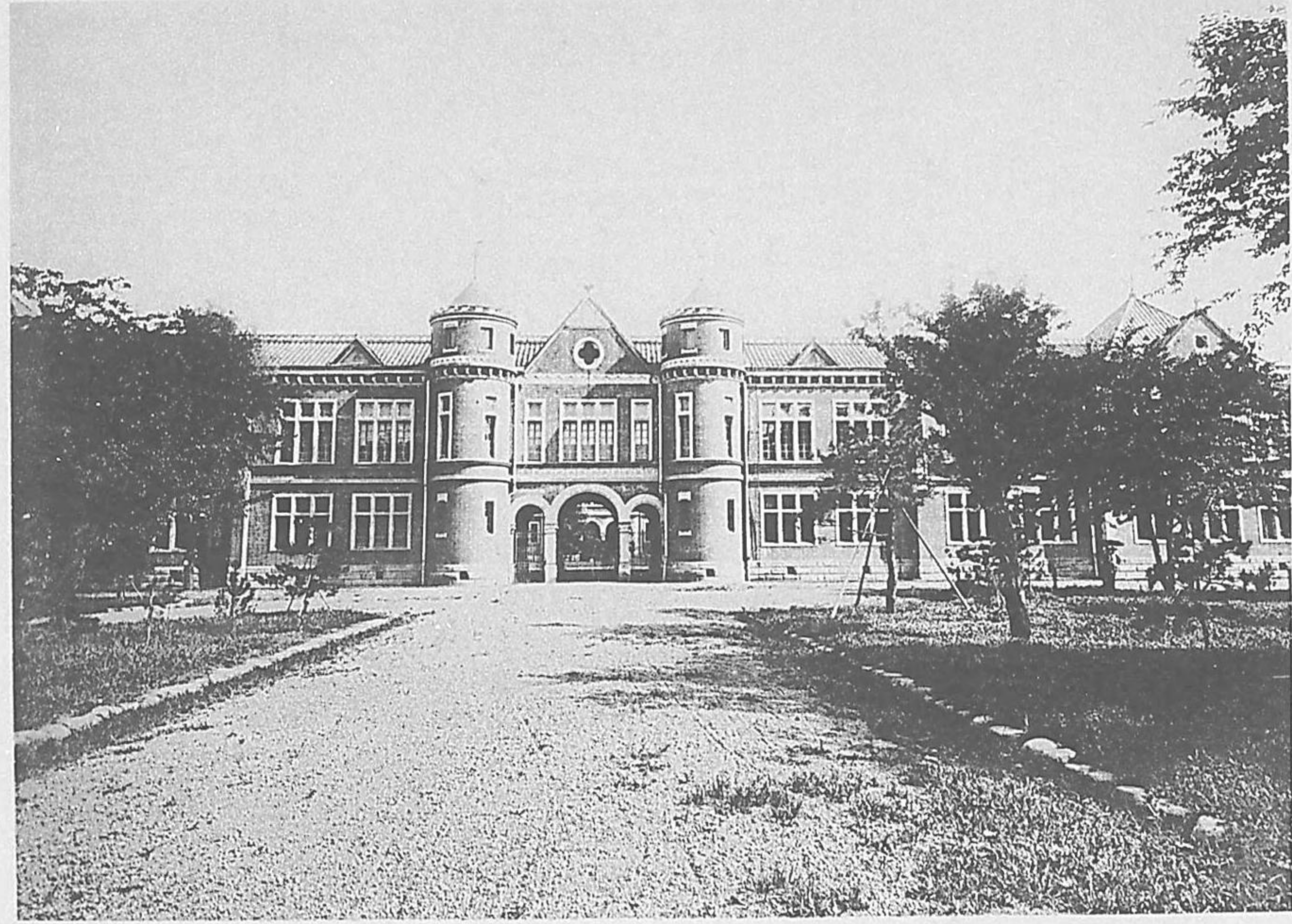
遊園地

大村益次郎銅像

大林益天頂願翁



東京帝國大學



東京帝國大學

音羽護國寺



音階園寺